

# 多文化共生事業事例集

年度  
R1

団体名

出雲市

助成金名：多文化共生のまちづくり促進事業

ジャンル

事業費総額 578 千円

【教育・子供】

事業名

就学前の子ども及び保護者への支援事業  
～保育所・幼稚園向け多言語文書作成ツール・指さしシート作成～

特徴

保育所・幼稚園で活用できる指さしツールや多言語文書作成ツールを整備し、外国人保護者とのスムーズな意思疎通の支援を図る。

## 事業のポイント

◇母語が日本語ではない外国人保護者に対して保育所・幼稚園からの連絡事項をわかりやすく伝えるため、多言語文書作成ツールを作成した。  
◇保育所・幼稚園で日本語理解が難しい外国人保護者との意思疎通のため、指さしによる情報伝達をするためのシートを作成した。

## 事業の背景・目的

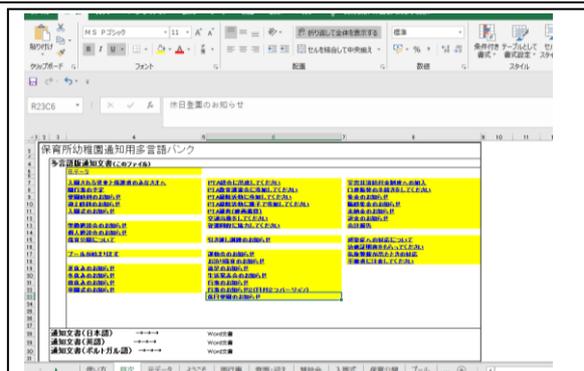
◇出雲市では、平成28年度に策定「出雲市多文化共生推進プラン」に基づき、「就学前の子ども及び保護者への支援」を進めている。  
◇外国につながる児童の保育所・幼稚園利用増に伴い、日本人職員とその保護者との意思疎通が難しい場面が増えている。  
◇上記解決のため「日本語理解の難しい外国人保護者、乳幼児とのコミュニケーションに役立つツール」の作成に取り組んだ。

## 事業の概要

|       |                                   |
|-------|-----------------------------------|
| 令和元年度 | 全体に対する多文化保育の理解促進                  |
| 令和2年度 | 外国につながる児童が多く利用する保育所・幼稚園での多文化保育の実践 |
| 令和3年度 | 新規園での多文化保育の実践・改良                  |

### 【スケジュール】

- 4月～ 全国の先進事例の調査・活用の検討  
多言語文書作成ツールは広島県東広島市、指さしコミュニケーションシートは神戸市を参考に進める。
- 6月 検討会議（在住外国人支援 NPO 団体、多文化共生マネージャー、市職員ほか）にて、外国につながる児童・保護者から多く寄せられる相談事・コミュニケーションの工夫など、実践者のアイデアを共有（その後も複数回検討を重ねる）。
- 9月 幼稚園向け多言語文書作成ツール説明会（幼稚園園長・教諭）
- 10月 外国籍児童集住幼稚園視察（園職員及び保護者からヒアリング）  
出雲市保育協議会会長へ事業説明
- 11月 外国籍児童集住認可保育所視察（園職員及び外国人保護者からヒアリング）  
多言語文書作成ツール、指さしコミュニケーションシート（幼稚園向け・保育所向け）試作版完成  
各現場で必要な内容や記載について意見提案を依頼。
- 12～1月 多言語文書作成ツール、指さしコミュニケーションシート（幼稚園向け・保育所向け）内容改良
- 2月 指さしコミュニケーションシートを市内の幼稚園、認可保育所、認定こども園、小規模保育事業施設へ配布



事業実施における工夫点・事業の成果等

◇多言語文書作成ツールは、これまで各保育所・幼稚園から翻訳依頼を受け作成してきたデータから共通した内容を網羅するよう取り組んだが、日本語の言い回しが微妙に変えてある内容が多く、普遍的な統一様式を作ることに苦慮した（完成版は、個々の状況に応じ、文章の加減ができるようにしてあり、必要な追加翻訳はやはり都度対応する必要がある）。

◇指さしコミュニケーションシートは、必要な持ち物等の情報が保育所・幼稚園で異なり、それぞれに作成する必要が生じた。試作版に対し、方言を入れてほしい要望があったが、今回は共通語のみ掲載することとした。

◇イラスト付きで内容を伝えられるシートは、アナログな媒体ではあるが、現場からすぐ使えて便利と概ね好評である。



## 今後の課題・（コロナ禍の状況を踏まえた）将来に向けての展望等

◇今回、多言語の連絡文書作成ツールや指さしコミュニケーションシートの整備に着手することで、従来の通訳者の配置や電話通訳、翻訳機以外の多言語支援ツール拡充に取り組むことができた。

◇指さしコミュニケーションシートの内容については、保護者との意思疎通以外に、児童とのやりとりに使えるよう「感情」や「基本的会話」などが掲載してあれば良いとの意見が出てきている。内容が多岐にわたれば分量も増えるため、使いやすさ・見やすさなどとの兼ね合いからバランス調整が今後の課題である。

◇多言語文書作成ツールでの簡易な文章や、指さしコミュニケーションシートでの外国語（英語・ポルトガル語）記載をきっかけに、現場職員から、相手に明確に情報を

伝えるために「やさしい日本語」を学びたいという意見や、簡単な外国語会話を習って使ってみてほしいという声が生まれてきた。今後はこうした要望に応える取り組みを展開していきたい。



## 事業担当者のふりかえり

- ⇒ 外国人保護者への連絡事項はわかりやすく簡潔に伝える必要があることを、保育所長に伝えた際、「日本人保護者に対しても、シンプルで最低限の情報を伝えないと伝わらないわね」と言われた一言が印象的だった。
- ⇒ 今回のヒアリングから、既に外国人集住保育所・幼稚園では独自の取り組みをしていること、他の施設での取り組みに関心があることがわかった。共通の様式整備により、ノウハウの共有につながったものと思われる。